

犬山ガス株式会社

愛知県犬山市 / ガバナ遠隔監視システム(令和5年度実施)



日置供給部課長

弊社が導入したガバナ遠隔監視システムは、乾電池式で電源工事を必要としないため、低コストでの施工が実現しました



▲新羽黒ガバナ-自記圧力計DA307N取付け(右上)

補助事業の導入経緯について

レジリエンス補助金を知ったきっかけを教えてください。

令和4年度に開催された、一般社団法人日本ガス協会東海北陸部会の応援受入演習で令和5年度にレジリエンス強化のため、ガバナ遠隔監視システム及びバルブ開閉アダプタの補助金制度が新設されると説明を受けました。

補助金を活用するに至った経緯と、最終的な決め手となったポイントを教えてください。

既存のデジタル式自記圧力計の更新を、2年をかけて計画していたタイミングで、ガバナ遠隔監視システムの補助金事業が新設されたこと、また設備費用の半額が補助金対象であり、単年度更新が可能となったことが大きなポイントとなりました。

ガバナ遠隔監視システムの設備を導入するに至った経緯を教えてください。

南海トラフ地震が危惧されるなか、遠隔で圧力監視をすることにより、圧力異常を早期に検知し、二次災害防止に役立てるためです。また当社はガバナ設置数が多く、デジタル式自記圧力計を運用していたため、定期的に社員が巡回し、圧力データを回収、記録しておりました。巡回作業に多くの時間を費やしていましたが、ガバナ遠隔監視システムに更新することで業務効率化にもなるため導入を決断しました。

補助金申請を検討し始めてから、実際に申請を行うまでにかかった期間はどれくらいでしたか。また申請を決定してから実際に申請するまでに要した期間を教えてください。

令和5年2月に当社の供給計画会議において、同年度に補助金を活用してガバナ遠隔監視システムへ更新することを検討いたしました。令和5年8月1日の一般社団法人都市ガス振興センターの補助金説明会を受け、見積りを依頼し、8月末に交付申請を行うに至りました。

発注先事業者を選定した理由や経緯を教えてください。

発注先業者の施工実績や、ガバナ遠隔監視システムに関するノウハウがあり、安心して任せられること、また導入後のサポートを含めて発注しました。令和5年度に専用ガバナを含め、当社が管理する全てのガバナに遠隔監視システムを導入しました。

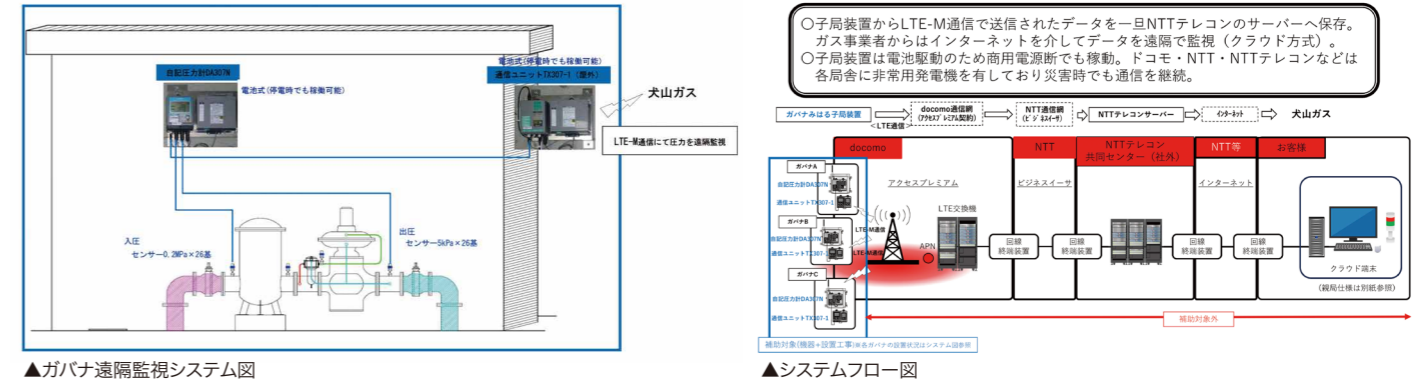
交付申請書作成にあたっての懸念事項と解決法

交付申請(交付申請書作成)にあたり、苦勞した点を教えてください

交付申請時に必要な実施計画書のガバナ設置場所に関する地図を手作業で作成することとなり、当社はガバナが26ヶ所あるため時間を要しました。また会社情報の資料集めなど、時間を要する書類等を揃えるのに苦勞しました。

その苦勞を解消できたポイントなどお聞かせください。

都市ガス振興センター等の担当者が、当社の質問や、修正点についての説明等を丁寧にご対応いただいたことで、補助金申請書類作成への不安が解消でき、無事申請することができました。



ガバナ遠隔監視システムを整備するうえで、重要視した機能を教えてください

4点ありました。まず1点目は、圧力異常があった際に、警報メールが届き、状況が把握できること。2点目に乾電池式で電源を必要としないことから、災害時にもデータが取得できること。3点目が、リアルタイムで圧力の確認ができること。最後4点目として、自記圧力計の時刻設定、圧力補正などのメンテナンスが容易に当社社員で対応可能なことです。

交付決定(採択)後の事業遂行にあたっての不安点と、その解消法について

工事完了から実績報告書の提出までのスケジュール管理が不安でしたが、発注先の担当者と密に連携を図ることができ、スムーズに対応することができました。

災害時に役立った事例について

具体的に災害時に役立った事例としては現時点ではありませんが、実際に巡回しないと確認できなかった圧力データが、社内で確認することが容易となったことで、状況判断が早くなり災害対応までの時間短縮に繋がる効果があると受け止めています。

今後、レジリエンス補助金活用を検討されているガス会社のご担当者の方に向けてアドバイス

ガバナ遠隔監視システムの新規設置や機能拡充・拡大の予定のある事業者様は、この補助金があるうちに申請を行った方が、補助対象経費の1/2、最大上限額2,000万円まで大幅にコスト削減が可能となりますので、ぜひこの補助金を活用していただくことをお勧めいたします。

【補助事業者概要】

代表者:加藤 光弘 代表取締役 需要家数:9,722個(令和5年3月末) 従業員数:29人

【補助事業概要】

ガバナ遠隔監視システム

導入時期:令和6年1月25日

導入内容の概要:・子局装置の新規導入 26局。親局は補助対象外としたクラウド端末。

設備の用途・機能・目的:・ガバナの遠隔監視

・圧力を常時遠隔で監視することによる異常の早期把握(停電時対応可)。

導入設備:自記圧力計(圧力センサー含む。圧力センサー2点(0~0.2Mpa、0~5kPa))、子局装置(通信ユニット)。乾電池式。